

日清エンジニアリング「nano tech 2015」に出展 ～高周波熱プラズマ法によるナノ粒子粉末の製造プロセスを紹介～

日清製粉グループのプラント・機器メーカーである日清エンジニアリング株式会社（社長：山田 幸良）は、本年1月28日（水）～1月30日（金）の3日間、東京ビッグサイト（東京・有明）で開催される「nano tech 2015 第14回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議」に出展します。

■ 当社出展内容（小間番号：東5ホール 5L-24）

当社は、ナノ粒子粉末の製造を工業的規模で行う設備を開発し、お客様のニーズに沿った粉末を受託加工するビジネスを展開しています。今回の当社ブースでは、「高周波熱プラズマ法^{※1}」で製造した単体の酸化物や金属のほか、窒化物、炭化物、合金、複合酸化物、コアシェルタイプなどの様々なナノ粒子の電子顕微鏡写真とサンプルを紹介します。

また、近年市場の成長が著しいスマートフォンやタブレットなどに用いられている電子回路基板の高性能化、小型化に対応するため、昨年度開発に成功した「亜酸化銅ナノ粒子^{※2}」も併せて提案します。



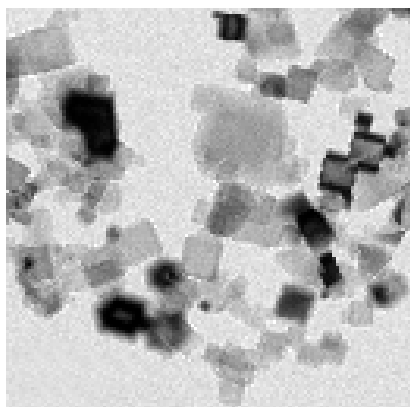
▲ 昨年の当社展示ブース

※1 高周波熱プラズマ法…プラズマの発生に高周波電磁場を用いたナノ粒子製造法。燃烧ガスや電極を用いないためクリーンな状態を保つことができ、コンタミネーションのない製造が可能。

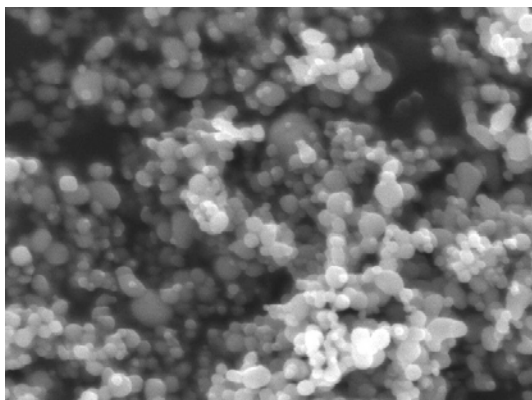
※2 亜酸化銅ナノ粒子…酸化物であるため大気中で安定しており、還元雰囲気下の低温焼成で容易に金属銅となるナノ粒子。

<参考 URL> <http://www.nisshineng.co.jp/knowledge/news/20140129.html>

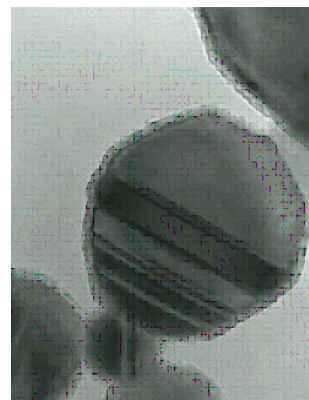
《電子顕微鏡写真例》



▲ 窒化チタン



▲ 亜酸化銅



▲ コアシェルナノ粒子
コア：ニッケル、シェル：酸化チタン

■「ナノテクノロジー」に関する世界最大の展示会

本年度で14回目を迎える「nano tech」は、国内外約600の企業や団体が出展し、来場者数4万5千人を見込む「ナノテクノロジー」に関する世界最大の展示会です。

＜nano tech 2015 開催概要＞

- 日 時：2015年1月28日（水）～1月30日（金）10：00～17：00
- 会 場：東京ビッグサイト 東4～6ホール・会議棟
- 主 催：nano tech 実行委員会
- WEB サイト：<http://www.nanotechexpo.jp/main/>

この件に関する報道関係者の方々のお問い合わせ先

株式会社日清製粉グループ本社 総務本部 広報部 担当：堀野・寺岡
東京都千代田区神田錦町1-25 電話03-5282-6650